

皇居外苑濠水環境改善事業（自然公園等事業費の一部）

150百万円（41百万円）

自然環境局 総務課

1. 事業の必要性・概要

皇居外苑の濠は、我が国を象徴する場、江戸城の遺構、都心の貴重な水辺等の様々な側面があるが、近年、水質の悪化によりアオコが大量発生し、悪臭や景観等の問題が生じている。

これまで、環境省では、水質改善計画に基づき新濠水浄化施設の整備等を進めているが、底泥対策や新たな補給水の確保などの中長期的対策の実施などの課題が存在する。

また、皇居外苑は、2020年オリンピック・パラリンピック東京大会のロードレース等の開催場所となる予定であるとともに、我が国を象徴する場として注目を集めることとなるため、競技開催を見据えた濠の水環境改善も必要となっている。

このようなことから、平成27年度を目途に新たな水質改善計画を作成し、それに基づき水環境改善対策を実施するものである。

2. 事業計画（業務内容）

平成27年度に、新水質改善計画を策定し、その後は同計画に基づき対策を実施する。

新水質改善計画に基づき、濠水浄化施設の効果的な運用に加え、①濠に蓄積した底泥に関する対策（浚渫、かいぼりなど）、②新たな補給水源の確保、③水生植物の適切な保全・管理による良好な水環境の維持、④千鳥ヶ淵等における生物の生息・生育環境の整備、利用環境の整備を含む総合的水環境再生事業について、事業内容の検討を行うとともに、事業の実施を進める。

平成27年度は、新水質改善計画の作成と新たな対策の検討、新計画推進のために必要な施設改修、総合的水環境再生事業等を行う。

3. 施策の効果

日本及び東京を象徴する場に相応しい環境（良好な水環境）の実現に資する。

皇居外苑濠水環境改善事業

平成27年度予算(案)額:150百万円(41百万円)
支出予定先:民間団体等

皇居外苑濠の水辺空間

- ・日本の象徴的存在
- ・江戸城の歴史的景観
- ・貴重な自然、憩いの場

<現状>

- ・水源を雨水に依存
- ・汚濁原因物質の流入 等



千鳥ヶ淵(H20.7)

水環境の悪化

環境省と関係機関の連携による対策の実施

(環境省)

- H22 皇居外苑濠管理方針・水質改善計画作成
- H25 新しい濠水浄化施設の運用開始

(関係機関)

- 東京都下水道による雨天時越流防止対策
(~H27年度末) 等

新浄化施設の効率的運用
中長期的対策の必要性

皇居外苑が東京オリンピックの会場

- ・内外から多くの来訪者
- ・夏の水質の悪化する時期



オリンピックとそれ以降に向けた対策 ~H32

新水質改善計画の作成(H27年度)

- ・既存施策の改善(浄化施設発生污泥処理施設整備)
- ・新たな対策の実施(底泥対策、補給水の確保、水生植物の適切な管理、局地的対策、他水域との連携等)
- ・自然、景観、利用等を含めた環境再生の推進

平成27年度事業

- ・濠水浄化施設発生污泥処理施設設計
- ・新対策実施のための老朽化設備の改修
- ・千鳥ヶ淵等での環境再生事業の実施

オリンピック開催にも対応した中長期的な皇居外苑濠水環境の改善